



はとやま 雑感

町長 小峰孝雄

【今月のテーマ】もう一つのゼロ

先月のコラムでは、平成26年の振込め詐欺被害件数ゼロと、交通事故死亡者数ゼロの日が6年以上にわたって続いていることを紹介いたしました。今月は安心・安全のもう一つのゼロについてご紹介します。

★

もう一つのゼロとは、昨年の消防団の出動回数がゼロなのです。ゼロといっても、火災の発生がゼロということではなく、消防団に協力をお願いしなければならないような、大きな火災や災害がなかったということです。

数年前には、人家の火災が続いたり、亡くなる方が出るような火災もあつたりしました。昨年はそうした大きな火災や災害が少なかったということがいえるでしょう。ぜひ、今年1年そうした火災や災害が起きないことを願っています。

★

その消防団の団員不足が全国的に深刻です。総務省からは、大臣名で団員確保に対する要請がたびたび町に届いております。

鳩山町でも例外ではありません。消防団員活動は、究極のボランティアともいえますが、災害時に消防団員の果たす役割は大きく、安心・安全のまちづくりは消防団の存在を抜きに語ることはできません。

★

町職員にも消防団加入を呼びかけています。現在、消防団に加入している職員は15人で、うち4人は女性消防団員です。これからも町職員への加入を積極的に呼びかけていきたいと思いますが、一般の方の消防団への加入も併せてお願いしたいと思います。

★

平成27年は、この交通事故死亡者ゼロ、振込め詐欺被害ゼロ、火災ゼロの安心・安全のまちづくりを、町民の皆様のご協力のもと進めていきたいと思っています。



「産学連携」へ新たな 一歩 女子栄養大学と 包括協定を締結

「鳩山町と女子栄養大学との連携協力に関する包括協定」での連携・協力事項

- ◆食と健康 ◆子育て、福祉
- ◆教育、文化、スポーツ、生涯学習
- ◆農林業、商工業、観光
- ◆環境 ◆人材育成 など

全体への発展に結びつけていきます。締結式で、女子栄養大学の香川学長は、「福祉・健康複合施設の整備を進め、地域包括ケアシステムの構築をめざすなど、福祉政策に積極的に取り組んでいる鳩山町で、今後も、健康のみではなく、さまざまな分野で、より効果的な事業を展開するための役割に立ちたい」と、今後のまちづくりへの協力について意気込みを語っていました。

女子栄養大学 連携・協力事業の一部を ご紹介します

子どもの食育を考える
プロジェクト

「はとっ子 給食レシピ」 事業



みんなそろっていただきます (亀井小)

入選作品が学校給食の献立に

乳幼児期・青少年期の食事の基礎づくりを推進するため、平成24年度から実施している「はとっ子給食レシピ」事業。コンテスト入選作品の中から数点が、子どもたち自身が毎日食べている給食の献立となります。今年度は、1月から2月にかけて、すでに3点のメニュー(うち1点は大学生考案の「鳩豆入り豆乳シチュー」)が給食で提供されました。

女子栄養大学は、このコンテストで審査員を務めるほか、学生がレシピに応募するなどの事業協力を行っています。

町では、これまでも、子どもへの食育推進を目的とした「はとっ子給食レシピコンテスト」や、町内各地で実施している「巡回健康教室」で女子栄養大学に事業協力を依頼してきました。また、食の力で地域の人々とのつながりを生み、食環境の改善と、地域のつながりの強化を図るため、鳩山町「食」コミュニティ会議プロジェクトを協働で実施し、さまざまなイベントを開催してきました。

今回締結した包括協定は、今までの両者のつながりをさらに発展させるためのものです。包括協定の主な内容は、左記のとおりですが、今後は、栄養学や保健学において全国トップクラスの実績を持つ女子栄養大学の知見と経験を、「食」や「健康づくり」にどうまらず、あらゆる分野で相互に連携協力し、まちづくり

これまでの連携を
まちづくりの全体へ

協定書を手にする女子栄養大学の香川 芳子学長と、小峰 孝雄町長。締結式では、今後の両者のより一層の連携を誓い合いました。



ピックアップ広報

2月9日、女子栄養大学坂戸キャンパス内で「鳩山町と女子栄養大学との連携協力に関する包括協定」の締結式が行われました。今月号では、協定の概要と、すでに行われている女子栄養大学との連携事業についてお伝えします。

食を通じた新たな出会い・交流を

鳩山町「食」コミュニティ会議プロジェクト



ピザづくりを楽しむ参加者

「食コミ」イベント第4弾を実施

食を通じた社会参加の場の創出、組織間でのネットワーク構築を目標に、平成25年6月に発足した鳩山町「食」コミュニティ会議は、町保健センター、町民、女子栄養大学、東京都健康長寿医療センター研究所により構成されています。

2月7日には、町保健センターで独身の方の交流の場となる「いっしょに食べよう!食コミ料理教室」をプロデュース。ピザやティラミスと一緒に作り、立食スタイルで男女30人が交流しました。参加者は「こうした集まりへの参加や、ピザとティラミスづくりも初めて。おいしく食べて、いろいろな話を聞けて楽しかった」と笑顔で話していました。



「ぎょうざそぼろ」を考案した松倉 侑翔さん (今宿小)



「鳩豆にぎやかサラダ」を考案した小林 錦之介さん (鳩山中)